



G o t o C i t y P r o f i l e b o o k

長崎県五島市  
市勢要覧  
2014年度版



しまの  
豊かさを  
創造する  
海洋都市





# 五島市について

## ●市長からのメッセージ

# みんなの力で五島を豊かに!!



平成26年度は、合併後10年を迎える区切りの年であり、勝負の年でもあります。五島市が将来に向けて大きく飛躍する重要な年にしたいと思います。

再生可能エネルギーは一大プロジェクトです。海洋再生可能エネルギー実証フィールド(日本版 EMEC) 整備に取り組むとともに、環境省の「潮流発電技術実用化推進事業」の実施、浮体式洋上風力発電の五島海域での展開を図ってまいります。

小学校からの英語習得事業を「プロジェクトG」と名づけ、五島の子どもたちが国際社会で活躍できる人材に育てくれる教育を、国に先駆けて取り組みます。

また、東京と福岡それぞれの都市に五島市事務所を開設します。今後は各事務所を基点として五島市への観光客誘致・農林水産物や加工品の販路拡大を展開し、五島市を広くアピールしたいと思います。

長崎の教会群とキリスト教関連遺産については、国・県・関係市町村と連携を図りながら、世界遺産登録を目指します。旧五輪教会・江上天主堂それぞれに施設管理を行う教会守を配置するなど、世界遺産登録を見据えた受入体制を整備してまいります。

地域の自主性、特性を活かして地区住民の力の結集を図る先進的な地域再生プロジェクトと位置付け、「地域の絆再生プロジェクト」を実施します。

市制10周年を迎える今年度は、8月1日の記念式典のほか、できるだけ多くの市民が参加できるよう年間を通して様々なイベントを開催します。

また、平成26年度は長崎国体の年です。今まで着々と準備を重ねてきましたが、いよいよ本番です。市民総参加の「おもてなし」による五島らしい魅力ある大会にしたいと思います。市民の皆様のご協力をお願いします。

(平成26年3月五島市議会定例会に関する記者発表より抜粋)

長崎県五島市長 野口 市太郎

## 1.五島市市民憲章

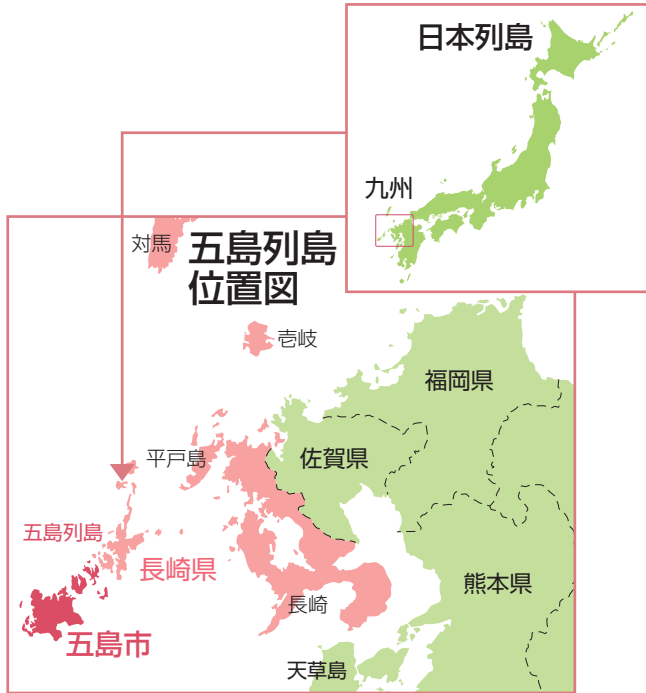
わたしたちは、美しい自然と、古代からの歴史に満ちた五島市の市民であることに誇りを持ちます。そして、ふるさとの伝統と文化を愛し、個性豊かな島づくりをめざして、ここに市民憲章を定めます。

- ◎青い海と緑の島の風土を愛し、豊かな自然を大切にしましょう。
- ◎希望と活力に満ち、心身ともに健康な毎日を過ごしましょう。
- ◎一人ひとりが思いやりをもち、共に生きる明るい社会を築きましょう。
- ◎歴史と伝統を学び、創造的で新しい文化を育てましょう。
- ◎人の和の広がるまちをつくり、永遠の平和をめざしましょう。



## 1. 位置

五島市は、九州の最西端、長崎県の西方海上約100kmに位置しています。大小152の島々からなる五島列島の南西部にあって、総面積は420.91km<sup>2</sup>、11の有人島と52の無人島で構成されています。



## 2. 地勢

福江島の西側の海岸は、東シナ海の荒波を受け海蝕崖がちなり、特に大瀬崎の断崖、嵯峨島の火山海蝕崖は有名です。また、福江島、嵯峨島には、小型のホマーテ（臼状火山）及びアスピーテ（楕状火山）の火山群があり、その特異な火山形は我が国でも珍しい存在となっています。島全体の景観は非常に美しく、その大部分が西海国立公園に指定されています。

## 3. 気候

五島地方は対馬暖流の影響が大きく、冬は暖かく夏は比較的涼しいといった海洋性の気候区（西海型気候区）に属しています。年間平均気温は17度で対馬暖流の影響を受け比較的温暖で、年間降水量は1953mmとなっています。

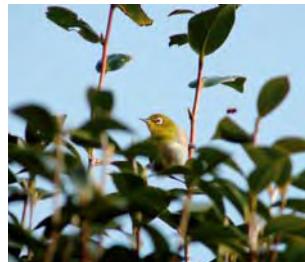
## 4. 五島市の花木鳥



●市の花木 ヤブツバキ



●市の花 ハマユウ



●市の鳥 メジロ



●市の木 アコウ

## 5. 五島市の歌

燦々と（作詞 川口早苗 補作詞・作曲 さだまさし）

燦々と朝陽浴びて 希望の島よ  
古城の跡を偲ぶ歴史の里よ  
緑豊かに海は清く  
たくましき人 育む島よ  
五島よ 夢を遙か 未来に拓け

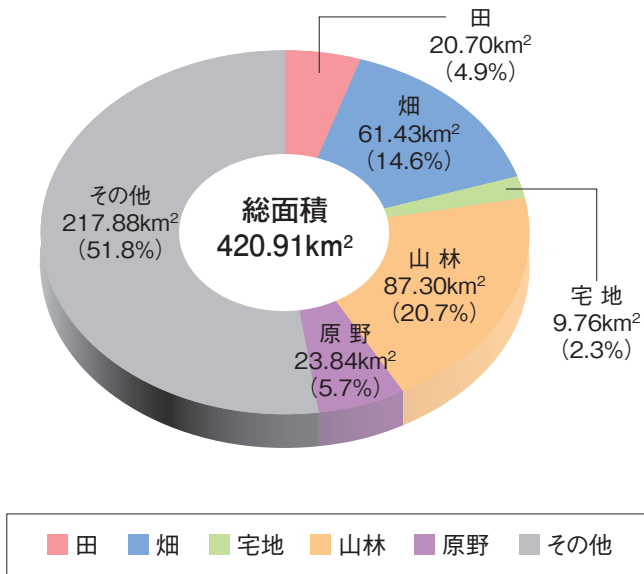
遣唐使の名残永遠に 文化の里よ  
ハマユウの花咲いて香る椿よ  
旅人癒し笑顔も集う  
豊かな子供 育む島よ  
五島よ 愛の歌よ 未来に響け

満点の星のごとく 輝く未来  
めぐりゆく季節に英知を継いで  
故郷はやさしき里よ  
夢多きひと 育む島よ  
五島よ 明日の夢よ 未来へ届け  
五島よ 明日の夢よ 未来へ届け

# 2.しまデータ

## 1. 地目別面積 (平成25年1月1日現在)

●地目別面積



平成25年1月1日現在/税務課調

注)「総面積」は、国土交通省国土地理院の「全国都道府県市町村別面積調」(平成25年10月1日現在)による。

注)「その他」は総面積から田、畑、宅地、山林、原野を差し引いた数値である。

## 2. 有人島の人口と面積

島名	人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )
福江島	36,949	326.48
久賀島	379	37.35
椀島	154	8.75
黄島	50	1.38
赤島	19	0.51
蕨小島	11	0.03
黒島	3	1.12
島山島	25	5.53
嵯峨島	187	3.18
奈留島	2,642	23.82
前島	33	0.47
合計	40,452	408.62

国土地理院及び企画課調

人口は平成25年3月31日現在

注) 四捨五入により0.001km<sup>2</sup>以上

## 3. 海岸線の長さ

区域	長さ(km)	県全体との割合(%)
長崎県	4,189.7	
五島市	556.8	13.3

平成25年3月31日現在

海岸統計

## 4. 五島市の主な河川 (二級河川)

河川名	所在地	流域面積(km <sup>2</sup> )	実測延長(m)
鰐川	岐宿町	32.41	14,671
一の川	富江町	34.50	13,995
福江川	籠淵町	27.60	9,059

平成25年3月31日現在

五島振興局調

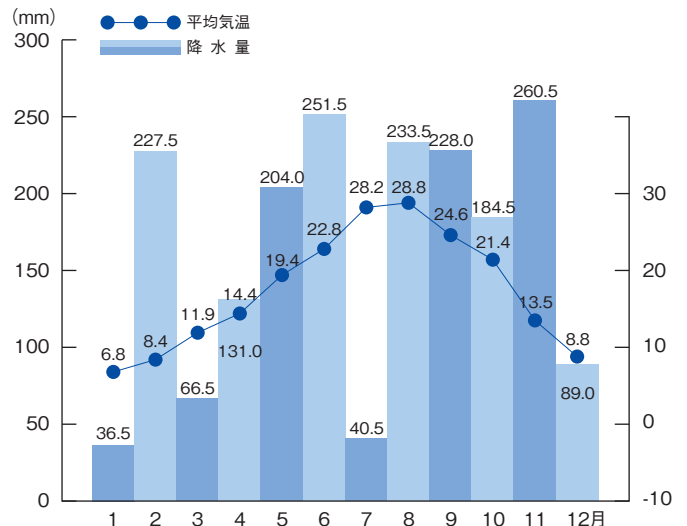
## 5. 気温と降水量

平成25年の平均気温は17.1℃、年間降水量は1953.0mmとなっています。

	平均気温(℃)	年間降水量(mm)
平成19年	17.8	1601.0
平成20年	17.1	2030.5
平成21年	17.5	2143.5
平成22年	17.2	2521.5
平成23年	16.8	1900.0
平成24年	16.8	2495.0
平成25年	17.1	1953.0

気象庁調

●平成25年月別平均気温・降水量

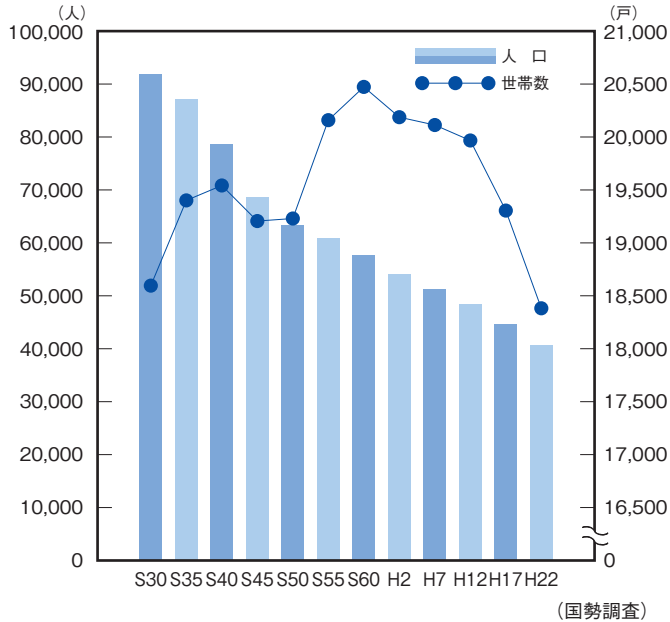






人口は、昭和35年の87,232人と比べて、平成22年の国勢調査では40,622人と半分以上になっています。

## 1. 人口及び世帯数推移 (各年10月1日現在)

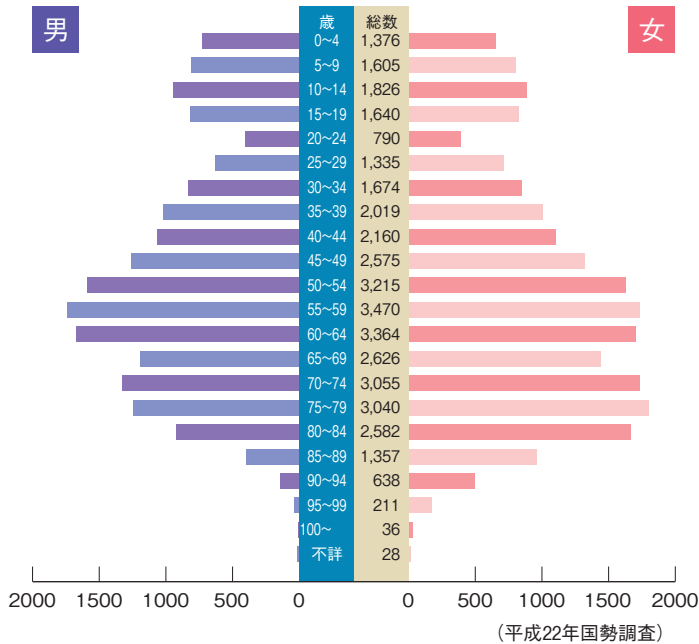


## 2. 住基人口推移 (住民基本台帳)

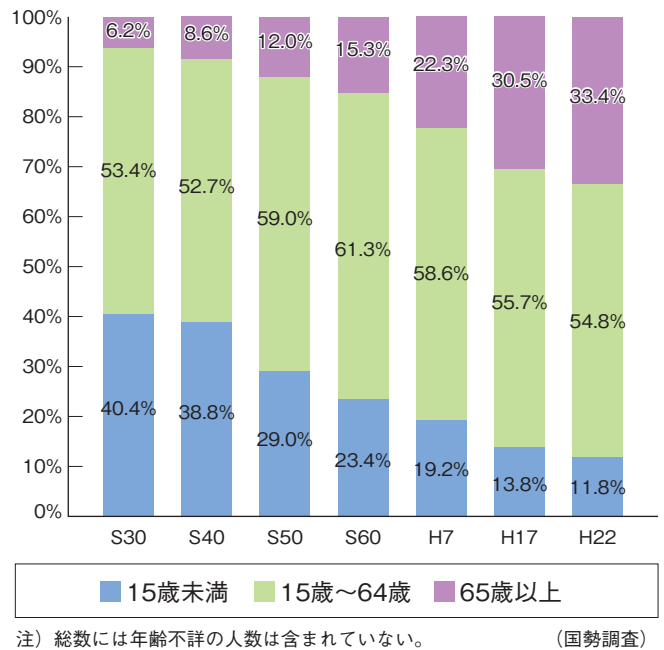
年 度	人口計 (人)	世帯 (戸)
平成16年度	46,905	20,840
平成17年度	45,941	20,867
平成18年度	44,954	20,807
平成19年度	43,968	20,657
平成20年度	43,163	20,640
平成21年度	42,466	20,620
平成22年度	41,767	20,588
平成23年度	41,079	20,457
平成24年度	40,452	20,375

各年年度末日現在  
注) 合併時は平成16年7月31日の数字

## 3. 5歳毎階級別人口 (平成22年調)



## 4. 年齢3区分人口推移 (各年10月1日現在)



五島市イメージキャラクター



つばきねこ



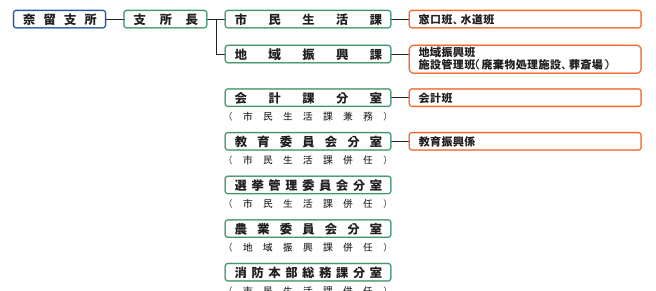
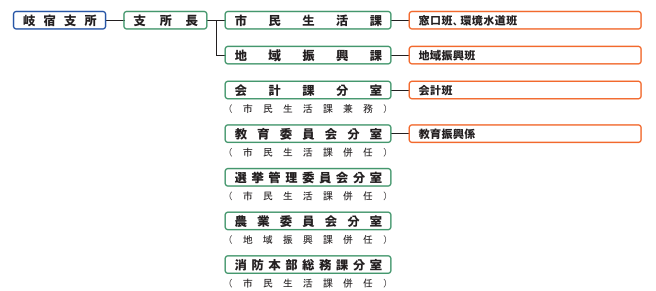
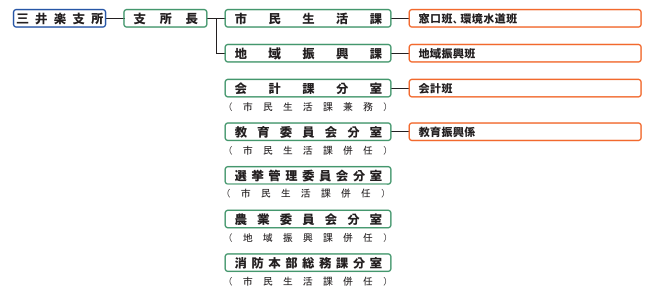
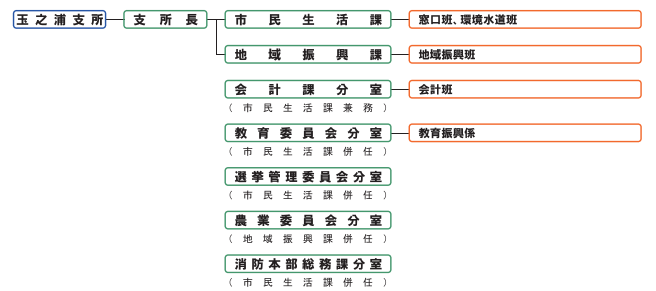
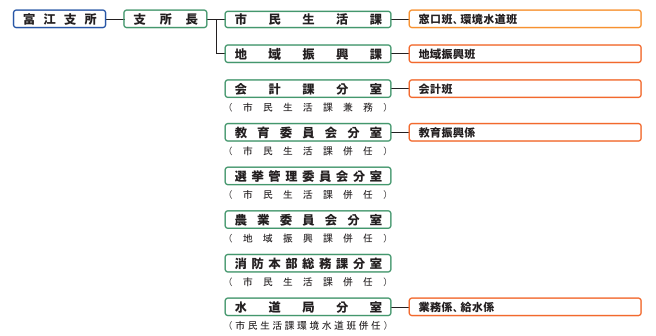
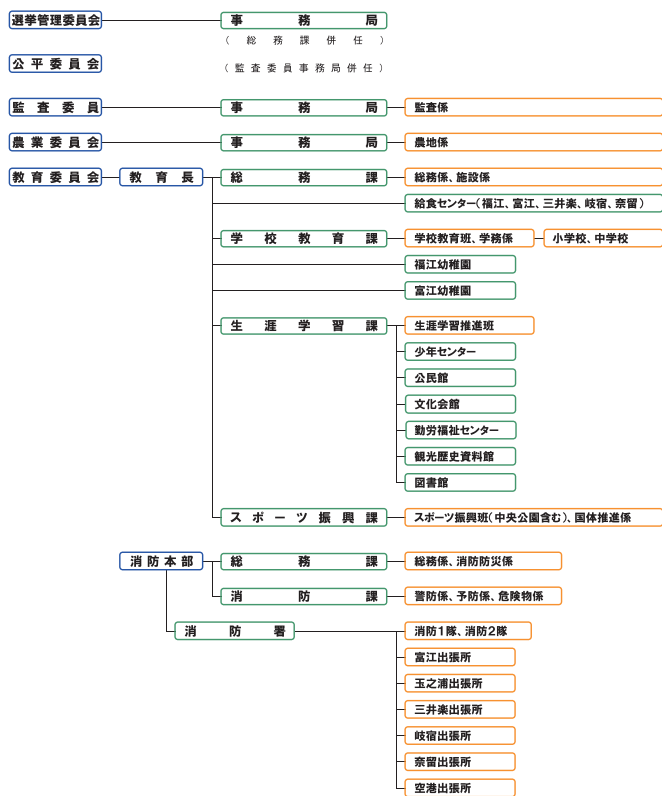
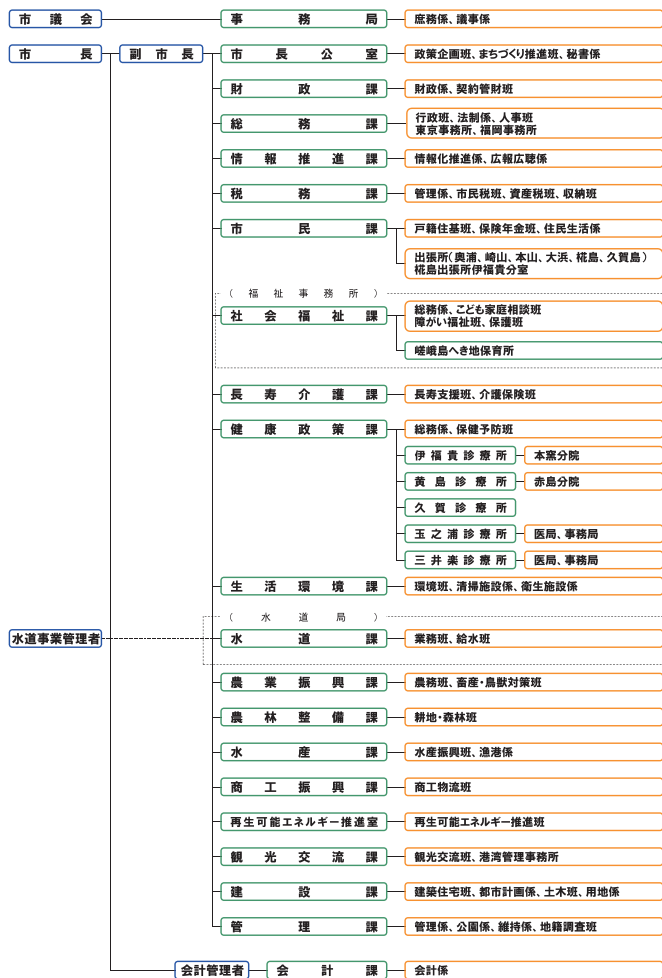
ごとりん



バラモンちゃん

# 4.五島市・組織・沿革

## ◎五島市行政機構図 (平成26年4月1日現在)





五島市は平成16年8月1日、福江市、南松浦郡富江町・玉之浦町・三井楽町・岐宿町・奈留町の1市5町が合併（新設合併）して誕生しました。

## ◎沿革（旧1市5町）

### ○旧福江市

明治22年4月／南松浦郡福江村・奥浦村・崎山村・本山村・大浜村・柁島村・久賀島村が発足

大正8年10月／福江村が町制施行により福江町に

昭和29年4月／福江町、奥浦村、崎山村、本山村、大浜村が合併して福江市制を施行

昭和32年3月／柁島村を編入

昭和32年11月／久賀島村を編入

### ○旧富江町

明治22年4月／南松浦郡富江村が発足

大正11年9月／町制施行により富江町に

### ○旧玉之浦町

明治22年4月／南松浦郡玉之浦村が発足

昭和8年11月／町制施行により玉之浦町に

### ○旧三井楽町

明治22年4月／南松浦郡三井楽村が発足

昭和15年11月／町制施行により三井楽町に

### ○旧岐宿町

明治22年4月／南松浦郡岐宿村が発足

昭和16年4月／町制施行により岐宿町に

### ○旧奈留町

明治22年4月／南松浦郡奈留島村が発足

昭和32年11月／町制施行により奈留町に

# 5. 市議会・財政



## 1. 市議会



合併時に発足した五島市議会は、旧1市5町の議員がそのまま新市議会の議員となる在任特例により91人でしたが、平成17年1月30日に議会解散を問う住民投票があり「賛成多数」で即日解散。平成17年2月27日の選挙で、定数26人の新しい議会がスタートしました。

その後、合併後の市の人口が毎年1000人規模で減少していることや行財政改革に対して議会みずから範を示すとの立場から議員定数等調査特別委員会を発足し、26人の定数を平成21年2月の市議会議員選挙から22人に、さらに平成29年2月に予定されている次回選挙からは20人に削減することとしています。

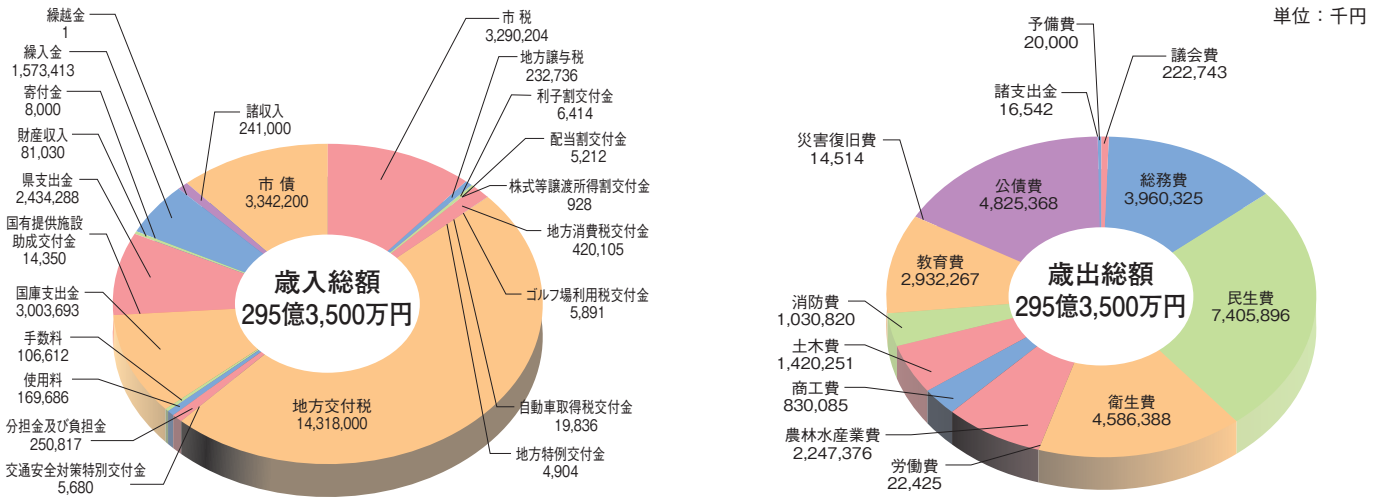
五島市議会議長 荒尾 正登



# 5. 市議会・財政

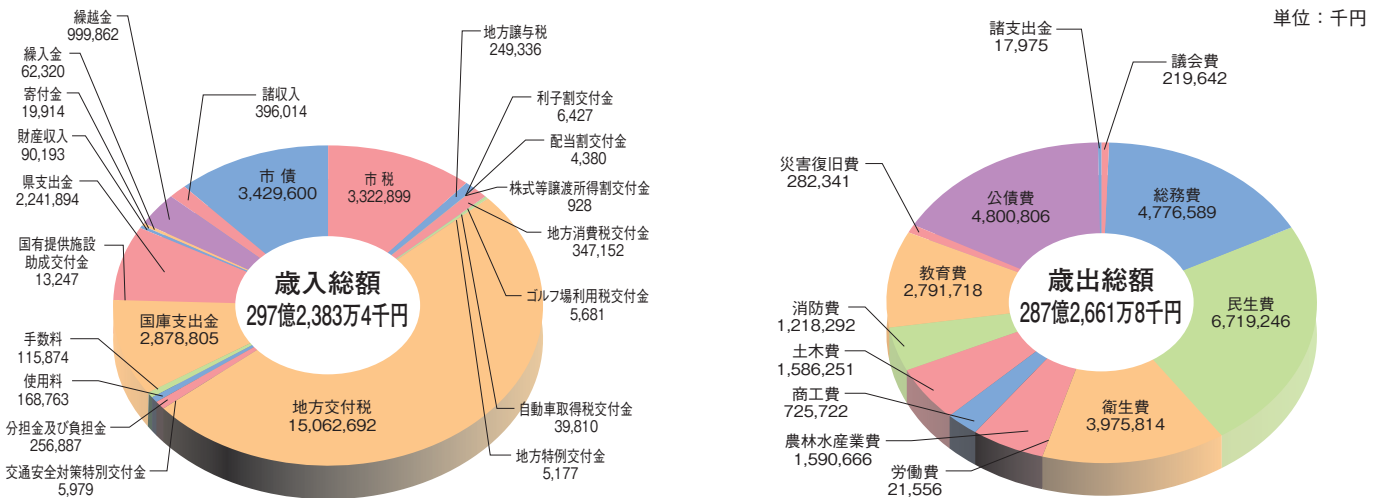
## 2. 財政

### ●平成26年度一般会計当初予算



## 3. 歳入歳出決算の状況

### ●平成24年度一般会計決算



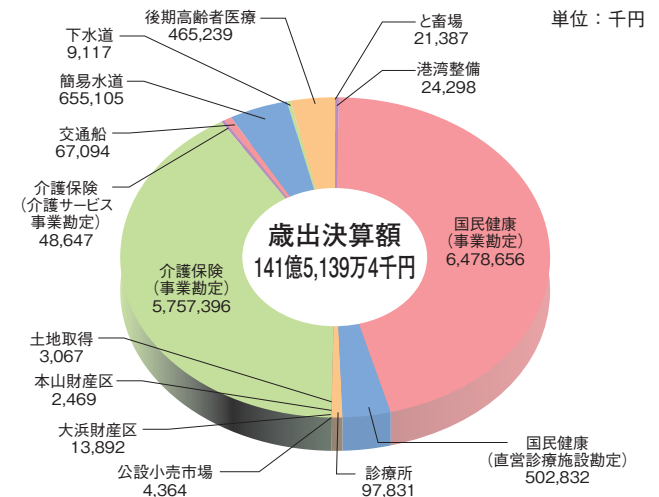
市の平成24年度決算では、一般会計歳入決算額合計は297億円で、そのうち自主財源となる地方税は33億円、歳入総額の11.2%となっています。

地方交付税は、151億円で歳入総額の50.6%を占め、これに国庫支出金などをあわせた依存財源は歳入総額の81.7%、244億円になります。

歳出総額は287億円で、このうち人件費・扶助費・公債費の義務的経費が145億円と歳出総額の50.4%を占めています。

市税等の自主財源に乏しく事業財源を起債に頼らざるを得ないため、実質公債費比率が高くなっています。また、財政の硬直化を判断する経常収支比率も高く90.8%となっています。財政力指数は0.23となっており、県下市町平均(0.37)と比べても低くなっています。なお、五島市は過疎地域自立促進特別措置法及び離島振興法の指定を受けています。

## 4. 特別会計決算の状況





# 6.市の自慢



**玉之浦椿**

ヤブ椿の突然変異とされる幻の椿。五島市の玉之浦町が発祥の地。



**久賀島の文化的景観**

国選定重要文化的景観。椿や独特の自然環境との共存によって作り出された風景。



**旧五輪教会堂**

国指定重要文化財。外観は和風建築で、内部は本格的な教会建築様式。当時の教会建築を知る上で歴史的に貴重な建造物。



**江上天主教**

国指定重要文化財。教会建築の名工鉄川与助の代表作。日本の木造教会のうち、完成度の高い作品として歴史的価値が高い。



**高浜**

日本一美しいといわれる砂浜を持つ全国的にも有名な海水浴場。日本の渚百選、日本の水浴場88選に選ばれています。



**大瀬崎灯台**

九州本土最西端にある、国内最大級の光力を誇る灯台。映画のロケ地としても有名。



**堂崎教会**

1879年創建/1908年改築。海辺に佇む堂崎教会は、五島キリタン復活の象徴。



**井持浦教会ルルド**

フランスのルルドを模して明治32年建造。日本初のルルドで信者の聖地とされる。



**トンボロ**

奈留瀬戸の激しい潮の流れで小石が堆積してできた砂州。地形学的に大変貴重。



**鬼岳**

西海国立公園内で五島のシンボルとも言える標高315mの山。



**チャンココ**

先祖供養として古くから伝わる念仏踊りで、お盆などに踊られる。



**ヘトマト**

国の重要無形民俗文化財。下崎山地区で行われる小正月の伝統行事。



**五島牛**

絶品の黒毛和牛。潮風の恵み、適度な塩分、ミネラルたっぷりの環境で栄養満点。



**マグロ**

養殖の基地化を目指して成長株の事業。



**バラモン凧**

子供の健康祈願、魔よけの意を持つ工芸品。



**サンゴ**

男女群島沖の稀少価値の高いサンゴを加工。きめ細かな、五島の伝統工芸品。



**カンコロ餅**

五島の名産品。甘藷のうまみが引き立ちます。



**五島うどん**

幻といわれた名産品。コシの強い乾麺が特徴。



**夕やけマラソン**

五島の夏の恒例イベント。参加者が3000人超の大会。



**バラモンキング**

水泳+自転車+マラソン計226kmのタフなトライアスロン競技。



**辞本涯の碑**

遣唐使ゆかりの三井楽町柏崎に立つ碑。辞本涯は空海の言葉とされる。



**さんさん富江キャンプ村**

目の前には美しい多郎島海水浴場が広がるキャンプ場。バンガローや遊具、合宿施設もある。



**魚津ヶ崎公園**

春は菜の花、梅雨の時期はあじさい、夏はひまわり、秋はコスモスが咲き誇ります。



**ユーミンの歌碑**

島を離れて暮らす友への思いを唄ったユーミンの「瞳を閉じて」の直筆の歌碑。



# 7. 平成26年度の重点施策や特徴的な取り組み

## 五島に活力を！

平成25年3月、総合特別区域法の地域活性化特区に、「椿による五島列島活性化特区」が認定されました。日本一の地域資源である「椿」を活用した産業振興を図ります。

また、離島活性化交付金を利用して、生産者負担の海上輸送コストを軽減し、販売促進・生産量の増加を図り、第1次産業を活性化します。

### □農林業振興

優良繁殖雌牛群の整備や地元材を活用した簡易牛舎整備事業に取り組み、「繁殖雌牛5,000頭増頭運動」を積極的に推進します。また、有害鳥獣の生息調査・捕獲により農林産物や生活環境被害の防止を図ります。

### □水産業振興

浮魚礁を活用したカツオ・シビなどの漁獲向上、マグロ養殖への支援、水産物の五島ブランド化に取り組み水産業者の所得向上を図り、後継者対策については、漁業研修生の受け入れや、漁船リース事業の活用などで新規漁業就業者の負担軽減に取り組みます。

### □商工観光振興

しまのPR及び島外からの誘客、しまでの消費促進を図る取り組みとして、平成25年度から3年間、県内のしま限定で使用できる「しまとく通貨」を発行しています。市内の宿泊施設で割引サービスなどが受けられる「お宿もちキャンペーン」など、五島市独自の取り組みと連動させ、観光客の増加にもつなげます。

平成26年度から東京事務所・福岡事務所を開設し、観光客や修学旅行の誘致、農林水産物をはじめとした特産品の斡旋・紹介など五島市の知名度向上を図ります。

### 【主な事業】

- 離島輸送コスト支援事業
- 肉用牛繁殖雌牛5,000頭増頭運動
- 有害鳥獣被害防止総合対策事業
- 漁業後継者育成事業
- しま共通地域通貨の発行及び利用促進事業



【愛称】しまうまッチ

ネーミングとしての愛らしさはもちろん、「まッチ」とは、「match」に通じるどこを意図しています。「match」は「釣り合うこと」で、しまとく通貨を使うことで、しま町の魅力がもっとよくわかる→「理想」と「現実」、「期待」と「実際」が「マッチすること」を表しています。



## 暮らしを守る！

### □医療福祉対策

市民の皆様に質の高い医療を提供するため、ICTを活用して地域完結型医療の構築として、調剤情報の共有化に取り組みます。

### □カネミ油症被害者対策

カネミ油症の被害は、今日も継続しています。引き続き未認定被害者の救済や市の医療費の立替問題、根本的な治療法の解明などの課題解決に向けて、被害者の会への活動支援に取り組みます。

### □防災力の向上

新消防庁舎、消防救急無線デジタル化、防災行政無線の消防3事業が完成し、4月から業務及び運用が開始されます。施設の活用で地域防災体制を強化し、五島市の防災力向上を図ります。

#### 【主な事業】

- 地域医療情報共有化事業
- カネミ油症対策事業
- 企業団病院運営費負担金



## 子どもたちに島をたくす！

### □子育て・教育環境の充実

平成26年度から国に先駆けて、国際社会に対応できる人材を育成するため、小学校1年生からの英語教育に取り組みます。

### □スポーツの振興

平成26年10月「長崎がんばらんば国体」が開催されます。市民総参加のおもてなし国体を目指して、魅力ある大会にしていまいます。また、スポーツ合宿を誘致し、スポーツによる「まちづくり」と「賑わいづくり」による地域の活性化を図ります。

### □教会群の世界遺産登録

教会群の世界遺産登録を目指し、県及び関係市町村と連携して、広報啓発や受入体制の整備を積極的に進めます。

### □再生可能エネルギーの島づくりと自然環境の保護

平成26年1月、再生可能エネルギーを活用した五島市の将来像を示す構想や計画を策定する「五島市再生可能エネルギー推進協議会」を設立しており、関連企業の誘致を目指しながら、地域産業の育成や雇用創出につなげます。



#### 【主な事業】

- 「プロジェクトG」小学校からの英語習得事業
- 長崎国体開催事業
- スポーツ交流人口拡大推進事業
- 世界遺産登録推進事業
- 再生可能エネルギー推進事業





# 8. 産業（地域の特性を活かした自立的な産業の育成）

## 1. 五島市総生産推移

単位：百万円

項目	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
1 産業	100,545	101,144	97,199	91,299	89,005	84,463	83,330	84,197
(1)農業	3,671	3,157	3,277	3,236	2,917	3,008	2,826	2,775
(2)林業	407	331	303	259	263	235	228	219
(3)水産業	4,561	3,473	3,108	3,545	3,696	3,546	3,240	3,016
(4)鉱業	1,047	975	781	586	457	336	304	300
(5)製造業	3,255	3,433	2,892	2,973	2,925	2,617	2,469	2,569
(6)建設業	12,747	14,609	12,955	9,460	10,906	6,255	6,249	7,925
(7)電気・ガス・水道業	5,231	5,521	5,650	4,769	3,478	3,352	3,324	3,361
(8)卸売・小売業	14,484	14,455	13,428	12,436	11,381	10,926	11,554	11,147
(9)金融・保険業	5,274	5,182	4,757	5,105	4,455	4,634	3,879	3,747
(10)不動産業	16,358	16,153	16,753	16,288	16,500	16,999	17,445	17,674
(11)運輸・通信業	9,115	8,967	8,522	7,960	7,654	7,485	7,354	7,170
(12)サービス業	24,394	24,888	24,774	24,681	24,376	25,071	24,457	24,295
2 政府サービス生産者	24,557	24,144	25,470	24,380	23,437	23,729	23,537	22,957
(1)電気・ガス・水道業	694	714	769	791	789	798	815	777
(2)サービス業	7,779	7,411	7,301	7,052	7,033	6,888	6,766	6,330
(3)公務	16,084	16,019	17,400	16,537	15,615	16,044	15,955	15,851
3 対家計民間非営利サービス生産者	4,053	3,804	3,888	3,688	3,423	3,303	3,655	3,571
小計	129,154	129,092	126,557	119,367	115,865	111,496	110,522	110,726
帰属利子等	▲4,512	▲4,331	▲4,254	▲3,900	▲3,773	▲3,569	▲3,391	▲3,118
総額	124,643	124,761	122,304	115,467	112,093	107,927	107,131	107,608

平成21年度長崎県の市町民経済計算

## 2. 産業別15歳以上就業者

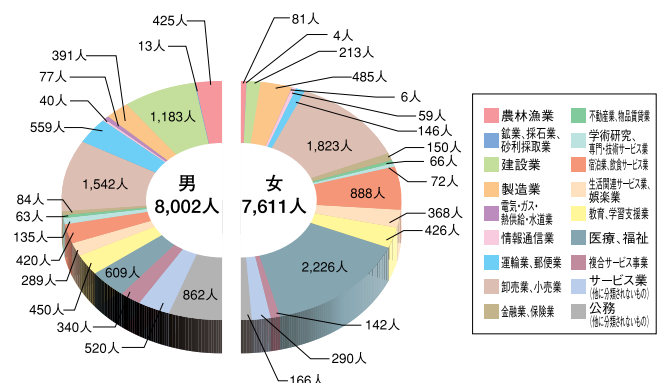
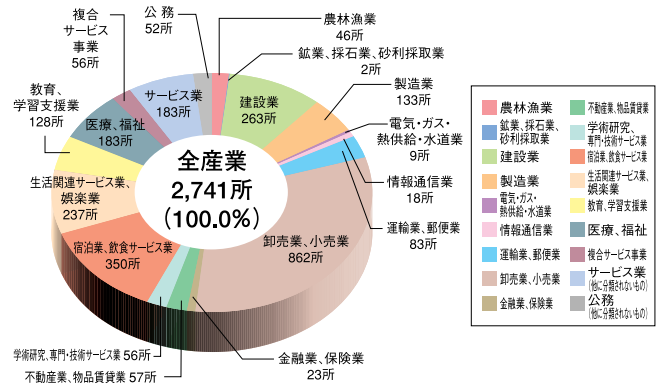
単位：人

職業	平成17年	平成22年
総数	18,858	17,009
専門的・技術的職業従事者	2,439	2,261
管理的職業従事者	447	350
事務従事者	2,970	2,464
販売従事者	2,138	1,880
サービス職業従事者	2,370	2,620
保安職業従事者	438	449
農林漁業作業員	3,082	2,695
生産工程・労務作業員		1,350
輸送・機械運転従事者	4,957	598
建設・採掘従事者		1,065
運搬・清掃・包装等従事者		1,043
分類不能の職業	17	234

各年10月1日現在

国勢調査

## 3. 事業所数推移、従業者数の推移





## 1. 商工業 (地域の特性を活かした自立的な産業の育成)

商業は、小規模な商店が経営の主体だったため、大型店、郊外店の出店により経営の体系が大きく変わっています。

### ●製造業推移 (4人以上の事業所)

年次	事業所数(所)	従業者数(人)	製造品出荷額等(百万円)
平成17年	56	739	6,950
平成18年	51	705	6,377
平成19年	51	703	6,283
平成20年	55	731	6,451
平成21年	48	614	6,149
平成22年	47	616	5,848

各年12月31日現在

工業統計調査

### ●商業の推移

地区	事業所数(所)			従業員数(人)			年間商品販売額(百万円)		
	14年	16年	19年	14年	16年	19年	14年	16年	19年
福江	640	604	569	2,945	2,762	2,598	59,298	65,941	54,989
富江	125	115	107	365	357	289	4,136	4,094	3,679
玉之浦	42	34	27	72	55	53	480	404	367
三井楽	71	67	52	192	177	153	1,920	1,875	1,659
岐宿	70	59	52	184	160	133	2,038	1,869	1,769
奈留	101	94	88	281	256	244	6,174	2,795	2,599
計	1,049	973	895	4,039	3,767	3,470	74,046	76,978	65,062

商業統計調査

## 2. 観光 (地域の特性を活かした自立的な産業の育成)

### ●観光の動き

五島市は、西海国立公園に代表される美しい自然景観と遣唐使、キリシタン、教会などの歴史・文化遺産に恵まれています。

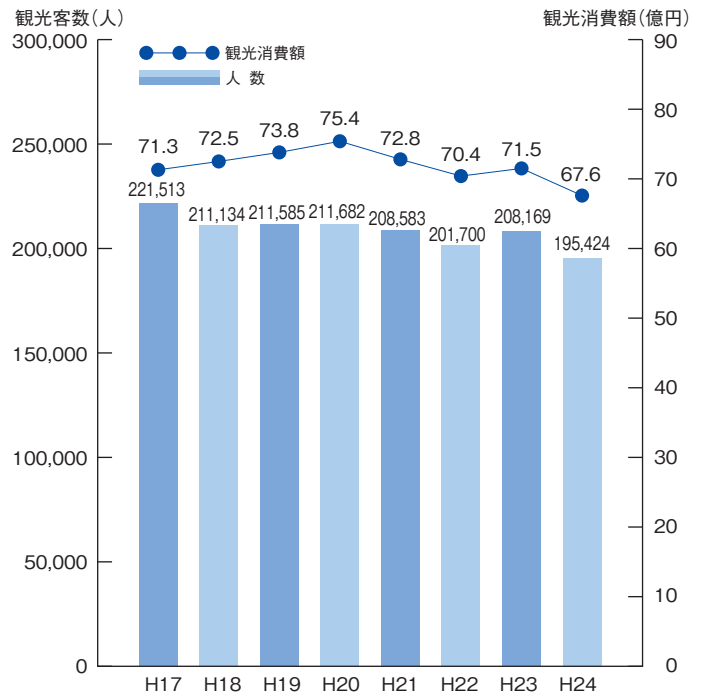
平成24年の市の統計による観光客延べ数及び観光消費額は、それぞれ19万5,424人、約67.6億円と推計しています。

市では、五島長崎トライアスロン大会・五島列島夕やけマラソン・五島椿まつり等の集客イベントや、平成25年4月に販売が始まった特典付き地域通貨「しまとく通貨」を活用した誘客キャンペーンに力を入れるとともに、体験型旅行の造成など、交流人口の拡大及び地域経済の活性化策を展開しています。

平成25年4月から、国際交流員(韓国)を新たに雇用し、韓国における本市の知名度の向上や「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録を見越した観光客(巡礼)誘致のための取り組みを進めています。また、平成24年に大幅に減少した、修学旅行等教育旅行の誘致については、本市独自の助成制度の周知徹底を図り、誘致の推進に力を入れて取り組んでいます。



### ●観光客数・観光消費額の推移



平成17年から掲載

観光交流課調

# 10. 農業 (地域の特性を活かした自立的な産業の育成)

五島市の農業は畑作が中心で、肉用牛、葉たばこが主管作物となっています。最近では、五島茶、ブロッコリー、中玉トマト、高菜の産地化を進めています。



## 1. 専兼業別農家数(販売農家)

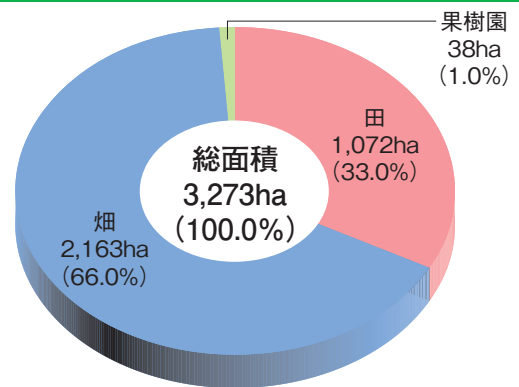
単位：戸

地区	販売農家数	専業農家	兼業農家	第1種兼業農家	第2種兼業農家
総数	1,234	631	603	136	467
福江	531	279	244	61	183
富江	156	106	50	16	34
玉之浦	83	36	47	7	40
三井楽	133	77	56	27	29
岐宿	330	126	204	24	180
奈留	1	0	—	—	—

平成22年2月1日現在

2010年農林業センサス

## 2. 経営耕地面積の状況



平成22年2月1日現在

農林業センサス

## 3. 稲・麦・野菜生産量の推移

### ● 稲

年次	水稲	
	作付面積 (ha)	収穫量 (t)
平成19年	927	3,710
平成20年	772	3,370
平成21年	775	3,170
平成22年	729	2,460
平成23年	692	2,920
平成24年	675	2,380

長崎農林水産統計年報

### ● 麦

年次	小麦		二条大麦		裸麦	
	子実作付面積 (ha)	収穫量 (t)	子実作付面積 (ha)	収穫量 (t)	子実作付面積 (ha)	収穫量 (t)
平成19年	104	364	376	1,330	54	135
平成20年	111	373	367	1,330	37	100
平成21年	100	239	380	1,040	26	49
平成22年	68	141	397	1,010	17	34
平成23年	78	186	415	1,230	25	61

(注) 合計には六条大麦を含む。

長崎農林水産統計年報

### ● 野菜

年次	かんしょ		ばれいしょ(4~3月)		キャベツ(4~3月)		ねぎ(4~3月)		さといも(4~3月)		レタス(4~3月)		ほうれんそう(4~3月)		たまねぎ(4~3月)	
	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)
平成14年	128	3,067	121	2,292	33	1,071	1	17	16	70	10	247	5	64	13	342
平成15年	103	2,310	106	1,840	22	674	1	15	15	81	13	286	5	61	12	308
平成16年	103	2,310	99	1,820	22	686	2	15	15	75	16	418	6	62	11	285
平成17年	66	1,620	91	1,770	22	686	2	14	15	76	20	473	6	63	11	306
平成18年	66	1,420	81	1,920	22	675	3	29	15	77	20	449	6	63	11	316

年次	なす(12~11月)		トマト(1~12月)		きゅうり(12~11月)		いちご(10~9月)		メロン(1~12月)		すいか(1~12月)		大豆	
	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作付面積 (ha)	収穫量 (t)
平成14年	13	117	12	202	7	136	x	x	8	137	27	445	113	108
平成15年	13	112	11	198	8	141	2	32	8	118	27	406	86	60
平成16年	13	109	12	212	8	146	2	32	7	112	27	433	93	40
平成17年	13	118	12	231	8	262	2	28	7	117	27	444	60	27
平成18年	12	94	12	233	8	231	2	26	7	107	22	331	56	20

(注) 平成19年調査より市町ごとの数字が公表されなくなりました。

長崎農林水産統計年報





## 4. 家畜等を販売目的で飼養している農家数と飼養頭羽数

単位：農家数（戸）、頭数（頭）、羽数（羽）

乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー	
飼養農家数	飼養頭数	飼養農家数	飼養頭数	飼養農家数	飼養頭数	飼養農家数	飼養羽数	出荷した農家数	出荷羽数
2	×	273	5,897	3	1,540	6	14,840	2	×

平成22年2月1日現在

2010年農林業センサス

## 5. 農産物販売金額1位の部門別農家数(販売農家)推移

単位：戸

区分	稲作	麦類作	雑穀・いも類・豆類	工業農作物	露地野菜	施設野菜	果樹類	花き・花木	その他の作物	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	養蚕	その他の畜産	計
平成7年	713	65	184	148	79	45	8	11	17	16	370	14	5	88	3	1,766
平成12年	619	46	176	150	68	68	7	8	11	12	292	6	2	-	-	1,465
平成17年	429	36	96	131	79	61	13	7	8	5	241	4	2	-	-	1,112
平成22年	341	19	69	112	124	92	11	7	7	3	239	4	4	-	-	1,032

各年2月1日現在

農林業センサス

# 11. 漁業(地域の特性を活かした自立的な産業の育成)

一本釣り、はえ縄、定置網が経営の主体ですが、生産の主体であるまき網漁業と合わせて減少傾向にあります。現在、マグロ養殖の基地化を進めており、今後に期待されます。

## 1. 漁業経営組織別経営体数推移

単位：経営体

年次	総数	個人経営体	会社	漁業協同組合	漁業生産組合	共同経営
昭和63年	1,582	1,522	24	7	2	27
平成5年	1,445	1,392	24	7	2	20
平成10年	1,278	1,241	20	5	1	11
平成15年	1,024	993	17	6	1	7
平成20年	860	833	21	1	0	5

各年11月1日現在

漁業センサス

## 2. 漁獲量推移

単位：t

年次	総漁獲量	海面漁業	養殖業
平成17年	19,847	17,536	2,311
平成18年	18,648	16,307	2,341
平成19年	20,181	18,387	1,794
平成20年	20,641	19,410	1,231
平成21年	18,800	17,344	1,456
平成22年	17,235	15,814	1,421
平成23年	16,865	15,611	1,254

港勢調査

## 3. 漁獲高推移

単位：百万円

年次	総漁獲高	海面漁業	養殖業
平成17年	7,724	5,476	2,248
平成18年	7,513	5,151	2,362
平成19年	7,585	5,436	2,149
平成20年	6,582	5,034	1,548
平成21年	5,828	4,489	1,339
平成22年	5,804	4,179	1,625
平成23年	6,534	4,756	1,787

港勢調査

## 4. 海面漁業魚種別漁獲量(五島市での順位)

単位：t

順位	魚種名	漁獲量
1位	あじ類	4,546
2位	さば類	3,288
3位	ぶり類	1,791
4位	まぐろ類	833
5位	いか類	700
6位	いわし類	216
7位	たい類	193
8位	かつお類	139
8位	たちうお	139
10位	いさぎ	128
11位	さわら類	114
12位	たこ類	56
13位	貝類	48
14位	海藻類	43
15位	さんま	35
16位	ひらめ・かいらい類	34
17位	うに類	22
17位	えび類	22
19位	さめ類	11
20位	すずき類	10
合計		15,573

※21位以降も含めた数値  
平成23年海面漁業  
生産統計調査

# 12. 交通 (市の内外を連携する交通・情報ネットワークの整備)

市と本土をつなぐ海路、空路は長崎と福岡で結ばれています。特に長崎～五島航路については、国の地域活力基盤創造交付金を活用して、平成23年4月から新船「フェリー万葉」が就航しました。これによりフェリー、ジェットfoilともこれまでより2割程度運賃が安くなりました。また、新船フェリーの運航時間が短縮され、直航約3時間で結ばれるようになりました。

平成24年12月には「フェリー椿」が就航し、ダイヤ等の更なる改善が実現されました。

## ● 航空便利状況

年次	総数		福江～福岡		福江～長崎		福江～関西	
	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客	乗客	降客
平成17年	82,994	77,544	59,283	53,535	22,358	22,695	1,353	1,314
平成18年	82,182	78,778	60,572	57,675	20,153	19,568	1,457	1,535
平成19年	80,533	76,750	60,281	57,300	18,852	18,464	1,400	986
平成20年	76,692	73,132	57,940	54,720	17,546	17,423	1,206	989
平成21年	75,093	69,771	58,028	53,795	16,097	14,988	968	988
平成22年	67,845	62,288	51,125	46,852	15,645	14,403	1,075	1,034
平成23年	65,031	61,702	48,922	46,319	15,141	14,406	968	977
平成24年	65,908	61,843	48,514	47,168	17,394	14,675	—	—

単位：人

長崎県統計年鑑

## ● 航路の状況(本土間)

### 【空路】

- 福岡⇄五島福江  
《プロペラ機》ANA
  - 福岡⇄五島福江  
《プロペラ機》ORC
  - 長崎⇄五島福江  
《プロペラ機》ORC
- ### 【海路】
- 長崎⇄福江  
《ジェットfoilペガサス》九州商船
  - 長崎⇄福江  
《フェリー万葉/フェリー椿》九州商船
  - 博多⇄福江  
《フェリー太古》野母商船

## ● 離島間航路の状況

### 【福江島と二次離島を結ぶ】

- 福江⇄久賀島⇄奥浦  
《フェリーひさか、シーガル》木口汽船
  - 福江⇄奈留島  
《フェリーオーシャン、ニューたいよう》五島旅客船
  - 福江⇄柁島  
《ソレイユ》木口汽船
  - 福江⇄赤島⇄黄島  
《おうしま》黄島海運
  - 富江⇄黒島  
《ニューとみえ》市営交通船
  - 貝津⇄嵯峨島  
《さかのしま丸》嵯峨島旅客船
- ### 【二次離島間を結ぶ】
- 奈留⇄前島  
《津和丸》市営交通船

# 13. 歴史・文化・文化財 (しまの多様な文化やスポーツを通して人が輝く社会づくり)



## ● 五島を世界遺産の島に！

「長崎の教会群とキリスト教開連遺産」は、平成19年1月、ユネスコの世界遺産暫定リストに登録されました。五島市は現在、長崎県及び長崎市、佐世保市、平戸市、南島原市、小値賀町、新上五島町、熊本県天草市と力をあわせ、「世界遺産」登録を目指しています。

五島市の構成資産候補は、旧五輪教会堂、江上天主堂の2教会です。



## ● 久賀島が国の重要文化的景観に選定

平成23年9月、久賀島の景観が国の「重要文化的景観」として選定されました。ツバキを生活の中で利用しながら守り続け、独特の自然環境と島民の暮らしにより創り出された風景が、国の文化財としてふさわしいとの評価を受けたことによるものです。



## ● 市内の指定文化財(主なもの)

市内には、国9件、県35件(うち国選択2件)、市39件、国選択1件、計84件の指定文化財があります。下崎山の奇祭ヘトマトを始め、五島神楽や念仏踊りの嵯峨島オーモンデーなど、地域の特色をもった伝統行事や天然記念物などが文化財として保護継承されています。



## 1. 水道供給の状況

年度	上水道				簡易水道			
	給水区域内人口(人)	現在給水人口(人)	普及率(%)	供給量(km <sup>3</sup> )	給水区域内人口(人)	現在給水人口(人)	普及率(%)	供給量(km <sup>3</sup> )
平成19年度	27,952	27,574	98.6	2,734	16,016	15,643	97.7	1,524
平成20年度	28,645	28,229	98.5	2,755	14,518	14,191	97.7	1,348
平成21年度	28,333	27,975	98.7	2,732	14,133	13,716	97.0	1,327
平成22年度	28,083	27,576	98.2	2,710	13,906	13,398	96.3	1,302
平成23年度	28,943	28,601	98.8	2,813	12,331	12,037	97.6	1,147
平成24年度	28,737	28,401	98.8	2,811	11,785	11,508	97.6	1,111

各年年度末日現在

水道局調

## 2. ごみ収集量推移

単位: kg

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
燃やすごみ	12,282,210	12,353,072	12,357,380	12,659,240	12,702,880
可燃性粗大ごみ	71,560	70,445	80,320	114,500	125,035
燃やせないごみ	486,380	595,640	560,230	370,970	315,030
不燃性粗大ごみ	44,120	43,270	45,370	55,230	63,470
資源ごみ1	712,160	676,140	664,050	714,890	703,660
資源ごみ2	40,420	39,590	41,160	40,050	43,320
資源ごみ3	500,790	440,100	618,820	571,440	729,180
資源ごみ4	75,870	76,080	84,320	202,390	262,940
計	14,213,510	14,294,337	14,451,650	14,728,710	14,945,515

(注) 資源ごみ1……かん、びん、ペットボトル  
資源ごみ2……発泡スチロール製品  
資源ごみ3……段ボール、新聞紙、紙パック、古布類  
資源ごみ4……金属製品  
生活環境課調

## 4. 汚水処理人口普及率推移

下水道普及率は30%程度に留まっており、豊かな海洋を守り快適な生活環境の向上を図るため、下水道や合併処理浄化槽の普及を推進しています。

年度	人口(人)	汚水処理人口(人)	汚水処理人口普及率(%)
平成12年度	49,553	5,304	10.7
平成13年度	48,890	6,327	12.9
平成14年度	48,353	7,382	15.3
平成15年度	47,580	8,562	18.0
平成16年度	46,905	9,746	20.8
平成17年度	45,941	10,796	23.5
平成18年度	44,954	11,344	25.2
平成19年度	43,968	12,108	27.5
平成20年度	43,163	12,771	29.6
平成21年度	42,652	13,211	31.0
平成22年度	41,989	10,986	26.2
平成23年度	41,274	11,444	27.7
平成24年度	40,522	11,909	29.4

各年年度末日現在

建設課及び水産課調

## 3. 市営住宅

単位: 戸

地区	計	木造	簡易耐火平屋建	簡易耐火二階建	耐火二階建	中層耐火
五島市	628	60	64	71	65	368
福江	391	2	43	36	26	284
富江	37	7	—	—	—	30
玉之浦	46	9	13	0	24	—
三井楽	23	5	—	—	—	18
岐宿	46	36	—	—	10	—
奈留	85	1	8	35	5	36

平成25年4月1日現在

建設課調

## 5. 国道・県道の状況

区分	一般国道	主要地方道	一般県道	合計
総延長(m)	68,207.1	70,597.6	95,120.1	233,924.8
重用(m)	0.0	3,079.9	65.0	3,144.9
未供用(m)	0.0	0.0	0.0	0.0
実延長(m)	68,207.1	70,597.6	95,120.1	233,924.8
道路	63,672.5	67,387.6	92,733.0	223,793.1
橋梁	784.6	663.0	927.1	2,374.7
トンネル	3,750.0	2,547.0	1,460.0	7,757.0
改良延長(m)	66,484.9	59,693.2	68,432.1	194,610.2
率(%)	97.5	84.6	71.9	83.2
舗装延長(m)	68,207.1	70,566.1	88,853.3	227,626.5
率(%)	100.0	100.0	93.4	97.3
路線数	1.0	5.0	7.0	13.0
橋梁数	43.0	33.0	80.0	156.0
トンネル数	14.0	3.0	2.0	19.0

平成25年4月1日現在

管理課調

## 6. 市道の状況

区分	一級	二級	その他	合計
総延長(m)	122,849.0	102,043.0	844,610.0	1,069,502.0
重用(m)	417.0	184.0	12,656.0	13,257.0
未供用(m)	0.0	568.0	555.0	1,123.0
実延長(m)	122,432.0	101,291.0	831,399.0	1,055,122.0
道路	121,632.0	100,745.0	828,317.0	1,050,694.0
橋梁	800.0	546.0	3,082.0	4,428.0
改良延長(m)	97,233.0	68,259.0	314,624.0	480,116.0
率(%)	79.4	67.4	37.8	45.5
舗装延長(m)	116,983.0	91,585.0	610,185.0	818,753.0
率(%)	95.5	90.4	73.4	77.6
路線数	49.0	57.0	1,880.0	1,986.0
橋梁数	87.0	67.0	430.0	584.0

平成25年4月1日現在

管理課調



# 14. 生活 (個性ある地域を活かした環境にやさしい豊かな生活空間づくり)

## 7. 自動車保有車両数推移

単位：台

種別	貨物車			乗合車	乗用車		特殊用途車	大型特殊車	小型二輪	軽自動車	総数
	普通	小型	被けん引		普通	小型					
平成19年度	697	1,299	4	73	1,452	5,002	567	294	286	17,496	27,170
平成20年度	642	1,226	4	73	1,417	4,715	553	282	276	17,570	26,758
平成21年度	600	1,114	4	70	1,349	4,497	542	274	274	17,759	26,483
平成22年度	586	1,060	3	69	1,322	4,338	533	278	294	18,081	26,564
平成23年度	572	1,026	3	71	1,315	4,173	524	276	291	18,343	26,594
平成24年度	559	987	3	71	1,346	4,106	527	276	285	18,465	26,625

各年年度末日現在

九州運輸局長崎陸運支局「長崎県市町村別・車種別保有車両数統計」

# 15. 学校・子ども (しまの多様な文化やスポーツを通して人が輝く社会づくり)

## 1. 幼稚園概況 (市立・私立)

年次	園数(園)	学級数(学級)	教員数(人)	園児数(人)
平成20年	4	15	23	230
平成21年	4	15	21	252
平成22年	4	12	22	233
平成23年	4	13	25	208
平成24年	4	13	22	206
平成25年	4	13	24	191

各年5月1日現在

学校基本調査

## 2. 小学校概況 (市立)

年次	学校数(校)		学級数(学級)	教員数(人)	児童数(人)
	本校	分校			
平成20年	21	5	134	227	2,258
平成21年	19	5	128	212	2,130
平成22年	19	5	127	211	2,045
平成23年	19	0	123	206	1,949
平成24年	19	0	120	201	1,891
平成25年	19	0	124	205	1,857

各年5月1日現在

学校基本調査

## 3. 中学校概況

年次	学校数(校)		学級数(学級)	教員数(人)	生徒数(人)
	本校	分校			
平成20年	13	1	63	166	1,373
平成21年	12	1	61	160	1,281
平成22年	12	1	59	156	1,188
平成23年	12	0	57	155	1,141
平成24年	12	0	55	145	1,075
平成25年	12	0	53	143	1,034

各年5月1日現在

学校基本調査

## 4. 高等学校概況 (全日制・定時制)

年次	学校数(校)		学級数(学級)	教員数(人)	生徒数(人)
	本校	分校			
平成20年	6	0	52	154	1,350
平成21年	6	0	50	145	1,283
平成22年	6	0	49	140	1,203
平成23年	5	0	47	131	1,150
平成24年	5	0	46	129	1,085
平成25年	5	0	47	131	1,028

各年5月1日現在

学校基本調査

# 16. 福祉 (すべての人々が安心して住めるまちづくり)

## 1. 児童福祉施設数及び障がい者支援施設数

単位：所、人

施設	施設数	入所者数	
		定員	人員
児童養護施設	1	40	37
児童館	2	—	—
児童遊園	6	—	—
へき地保育所	4	140	31
保育所	18	930	940
児童クラブ	9	—	338
障がい者支援施設	1	60	60

平成25年4月1日現在

社会福祉課調

## 2. 老人福祉施設数

単位：所、人

施設	施設数	入所者数	
		定員	人員
養護老人ホーム	2	100	97
特別養護老人ホーム	7	346	346
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	23	303	303
軽費老人ホーム(ケアハウス)	1	30	30
生活支援ハウス	3	46	30
老人福祉センター	2	—	—
介護老人保健施設	3	200	200

平成25年4月1日現在

社会福祉課及び長寿介護課調



### 3. 保育所（園）の状況

単位：所、人

施設名	定員	園児数				施設名	定員	園児数			
		計	3歳児未満	3歳児	4歳児以上			計	3歳児未満	3歳児	4歳児以上
1 文化保育園	90	97	43	23	31	富江地区計	130	94	42	22	30
2 崎山保育園	30	28	9	7	12	1 玉之浦へき地保育所	40	10	2	3	5
3 恵保育園	90	93	37	14	42	2 中川へき地保育所	40	5	2	0	3
4 みどり丘保育園	60	49	24	10	15	玉之浦地区計	80	15	4	3	8
5 善教寺保育園	60	63	26	12	25	1 嵯峨島へき地保育所	20	4	1	1	2
6 平和のぼら保育園	30	29	10	4	15	2 聖母保育園	40	37	16	4	17
7 幼徳保育園	60	69	27	14	28	三井楽地区計	60	41	17	5	19
8 若草保育園	50	57	19	10	28	1 白百合愛児園	40	41	17	6	18
9 聖マリア保育園	90	103	49	22	32	2 山内保育園	40	31	12	7	12
10 鷺浦保育園	40	40	17	10	13	3 川原保育園	30	33	12	5	16
11 こもれびの舎保育園	60	63	26	16	21	岐宿地区計	110	105	41	18	46
福江地区計	660	691	287	142	262	1 さくら保育園	30	25	9	7	9
1 富江保育所	60	68	34	16	18	奈留地区計	30	25	9	7	9
2 黒瀬小規模保育所	30	14	8	1	5	合計	1,070	971	400	197	374
3 富江へき地保育所	40	12	0	5	7						

社会福祉課調

平成25年4月1日現在

### 4. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）の状況

単位：所、人

事業所名	入所者数		事業所名	入所者数	
	定員	人員		定員	人員
1 グループホーム 福美荘	18	18	13 有限会社 あすなろ グループホームまごころ	15	15
2 グループホーム福寿園	9	9	14 グループホーム ゆうゆうてらわき	9	9
3 ゆたっとはうす	9	9	15 社会福祉法人 なる共生会 グループホームなるの里	9	9
4 医療法人山下医院グループホーム昇山荘	18	18	16 グループホーム 三井楽	18	18
5 グループホーム大津	9	9	17 有限会社 共生会 グループホーム 岐宿園	18	18
6 グループホーム 清風	9	9	18 グループホームさざなみ	9	9
7 グループホーム五島	9	9	19 グループホーム 大浜	9	9
8 グループホーム ファミリーハウス	18	18	20 グループホーム おくうら	18	18
9 グループホーム 富江	18	18	21 グループホーム天意	9	9
10 グループホーム あすか	18	18	22 有限会社 グループホーム 翁頭	18	18
11 有限会社 グループホーム せいゆう荘	18	18	23 グループホーム 鶴亀	9	9
12 認知症対応型共同生活介護事業所 きじの里	9	9	合計	303	303

長寿介護課調

平成25年4月1日現在

# 17. 医療（すべての人々が安心して住めるまちづくり）



## 1. 医療施設

単位：所、数

地区	病院		診療所		歯科診療所	
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数
福江	3	453	24	114	11	
富江	1	55	2	—	2	
玉之浦	—	—	7	19	—	
三井楽	—	—	4	37	2	
岐宿	—	—	4	19	2	
奈留	1	52	2	—	1	
計	5	560	43	189	18	

平成25年6月1日現在

五島保健所事業概要

## 2. 医師数

単位：人

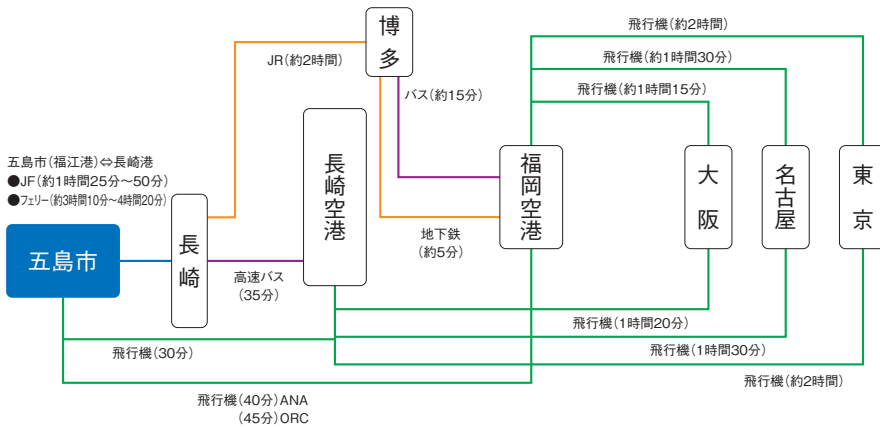
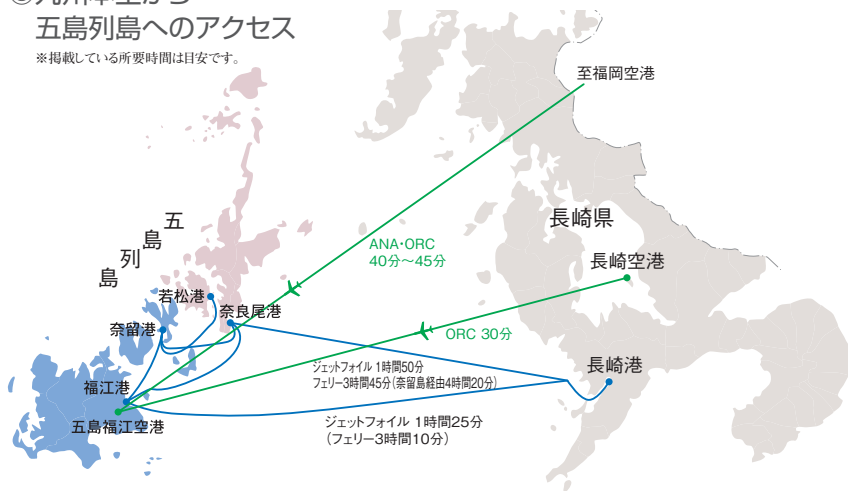
区分	医師	人口10万人 当たり	歯科医師	
			人口10万人 当たり	人口10万人 当たり
五島市	77	189.6	17	41.8
長崎県	4,062	284.7	1,215	85.2
全国	295,049	230.4	101,576	79.3

平成22年度 医師・歯科医師・薬剤師調査より

# 五島市 information

## ◎九州本土から 五島列島へのアクセス

※掲載している所要時間は目安です。



## ◎五島市へのアクセス

出発地	到着地	交通機関	所要時間	運航便数	運航会社
福岡空港	五島福江空港	航空機	40分～45分	4便/日	ANA、ORC
博多港(福岡)	福江港	フェリー	9時間30分	1便/日	野母商船株
長崎空港	五島福江空港	航空機	30分	3便/日	ORC
長崎港	福江港	ジェットフォイル	1時間25分(直行)	注1	九州商船株
長崎港	福江港	フェリー	3時間10分(直行)	注1	九州商船株

※注1 九州商船株の長崎港⇄五島港航路は時期、季節によって運航便数に変更があります。その他の交通機関に関しても運航便数に変更がある場合がありますので、詳細に関しては運航会社へご確認ください。



長崎県五島市  
市勢要覧  
2014年度版

発行/五島市 平成26年3月  
企画・編集/五島市情報推進課

〒853-8501 長崎県五島市福江町1番1号  
TEL.0959-72-6111 FAX.0959-74-1994  
URL <http://www3.city.goto.nagasaki.jp>

印刷/(株)昭和堂五島営業所

〒853-0044 長崎県五島市堤町1432  
TEL.0959-72-2141